



地域でみんなの命を守るために



地域で避難訓練のススメ

災害はいつ私たちに降りかかるかわかりません。“もしも”の備えは地域で出来ていますか？

いつ・どこに・どうやって逃げるか。地域で避難について話し合い、訓練することで

『地域を守ること・みんなの命を守ること』に繋がります。



情報入手・伝達

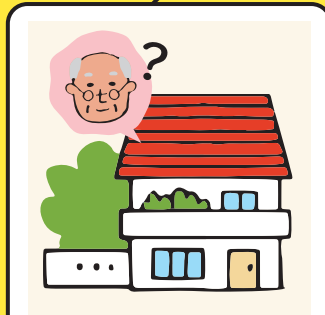
声かけ避難

避難行動の確認

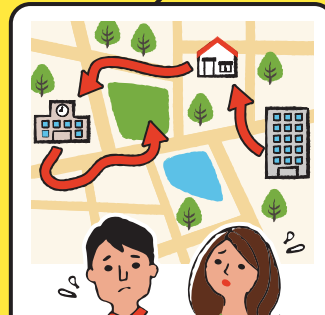
要支援者の実働訓練



混乱や想定外の出来事で正しい最新情報がわからない。地域でどのように伝えるか決まっていない。



避難情報を得られない住民が取り残されるおそれ。避難が遅れると2次被害発生の可能性も。



避難所に行くまで迷ってしまった。別の場所で被災した家族と分かれてしまった時が不安…



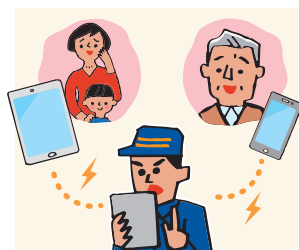
家族が要支援者として把握されていない。避難方法やどんな支援が受けられるかわからない。

正しく・速く伝える

逃げ遅れない

早く・安全に逃げる

支援を受ける



スマホやタブレットで災害情報を素早く入手。SNSを活用し、住民へ速やかに情報を伝達できる。



メールや電話に加え住民同士の声かけで、住民全員の速やかな避難を目指す。



最短で安全なルートで避難ができる。家族と事前に決めた場所ですムズな再会ができる。



地域で要支援者として登録しているので、安心して支援が受けられる。

自治体で訓練を行う際の経費には、交付金が活用できます

「災害時避難行動円滑化事業訓練実施交付金」は、消防団に対する訓練実施経費を支援する交付金です。

消防団が行う地域の避難訓練に必要な資機材の整備に、ぜひご活用ください。

交付金が適用される購入例



折り畳み車椅子



拡声器



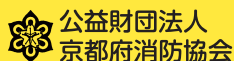
救助ボート



ヘッドライト



バックパック



詳しくは、お近くの消防団または市町村へご連絡ください。

この交付金は「京都府逃げ遅れゼロ・プロジェクト」の事業として実施しています。

京都府 消防団 検索

